

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム銀杏の丘

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 6 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	鍵はかけられている。中からボタンを押さないと外に出られない。外に出たいという訴えがある時は職員と一緒に外に出ている。共有空間の窓は閉まっている。身体拘束に関する研修に職員は参加している。玄関の施錠は身体拘束に含まれるという観点から、今後も施錠しないケアについて関係者で話し合ってほしい。	入居者の安全を守る為に、玄関の施錠は継続する。	徘徊される方がいる為、鍵はかけているが、空気の入れ替えやリネン交換、テラス散歩の際は、開けている。又外食・ショッピング・ドライブ・受診援助など生活シーンの中で外に出る機会を多く取り入れている。玄関にも市の実地指導の際のアドバイスにより、来館者に対して、案内を掲示している。引き続き入居者の安全と身体拘束のない生活をすすめていく。	0ヶ月
2	26	3ヶ月ごとのモニタリングを行い、6ヶ月と随時の見直しを行っている。毎月ケース会議を行い、9人のケア内容を話し合っている。月に1度のモニタリングを行い、3ヶ月に1度の計画の見直しで現状に即した介護計画の作成につなげてほしい。	4月より実施する。	4月より基準以外に、月に1度のモニタリングを行い、3ヶ月に1度の計画の見直しで現状に即した介護計画の作成につなげる。	0ヶ月
3	35	年2回併設の特別養護老人ホームと合同の昼夜想定避難訓練を行っている。近隣住民の参加がある。スプリンクラー設置済で地域消防団との協力体制は出来ている。備蓄として水・食糧の用意がある。利用者と職員が避難技術を身に付けられるように自主訓練の増加をお願いしたい。	7月より奇数月に実施する。	年2回の基準以外に、入居者と職員の避難技術が向上するよう、さまざまな想定で、訓練を実施していく。火点の確認、初期消火、二次消火、避難経路の確認、避難方法、避難場所の確認、夜間召集訓練も予定する。	1ヶ月
4	40	食事は併設の施設の厨房より利用者と一緒に配膳車で取りに行っている。職員と一緒に食べていない。利用者の意見は厨房に伝えている。食べやすくするためにとろみは喉元を通る時に溶けないもので工夫している。利用者は配膳、下膳、盛り付けなどを手伝っている。職員が同じものを食べて味等の評価を行い、介助しながらでも職員と一緒に食べられる体制作りを検討してほしい。	7月より毎食味見等の確認を行う。	配膳前に職員が味見をしてから、必要に応じて味や形態を変更する。尚一緒に食べる体制については、検食時に実施。毎食の体制は現在予定していません。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。